

第5学年 社会科学習指導案

学級 5年3組 男子16名 女子14名 計30名
場所 5年3組教室
授業者 岩持 亜由美

1 単元名 「工業の今と未来」(教育出版5年上)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第5学年の目標「(2)我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。」と、学習指導要領の内容「(3)我が国の工業生産について、調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」を受けて設定された単元である。

前単元「自動車づくりにはげむ人々」では、工場が建つ条件を調べることで、自動車づくりに適した地域があることや、環境に配慮した自動車づくりが求められていることを学んだ。また、「世界とつながる日本の工業」では、日本は燃料や原料を多く輸入して機械類などを大量に輸出し、工業を通じて世界とつながっていることを学んだ。この学習を受けて本単元では、日本の工業の特色について調べ、自然環境や交通網の発達などに関連して発展していったことや、中小工業のものづくりが自分達の暮らしや心を豊かにしていることを学んでいく。

本教材は、日本の工業生産について資料を活用して調べ、工業生産に携わる人々が高い技術と誇りをもってものづくりを行っているという現状を捉えさせる学習を通して、社会的な見方・考え方を育てることができる教材である。

(2) 児童について

社会科に関する事前調査によると、社会科が好きだと答えた児童は6割程度で、好きな理由は、「知らなかった社会のことを知ることができる。」などであった。一方、あまり好きではないと答えた児童の理由としては、「覚えることが多くて大変だ。」などがあげられた。

全体として社会の学習に対する興味・関心が高く、課題に対して意欲的に調べたり、調べて分かったことを自分の生活に関わらせて発表したりする児童が増えている。また、資料から必要な情報を読み取り、その事実に対する自分なりの考えを表現する児童も増えてきている。しかし、個人差が大きく、学び合いを通して一人一人の考えを深めていくところは今後の課題である。

(3) 指導について

本単元では、「自動車づくりにはげむ人々」の学習を活用して課題解決的な学習を展開し、課題に対する予想から見通しをもって調べ学習を行うことができるようにしていく。学び合いでは、理由や事象に対する自分の考えを話し合い、個人で調べた考えを深めていくことを目指したい。

そのために、「とらえる」段階では、自分の生活が、様々な工業製品に支えられていることに気づき、日本の工業生産の特色と今後の在り方を考えるという単元を通じた学習課題を設定する。

「たしかめる」段階では、資料を選んで与えたり、既習事項と関連させて考えさせることで工業地帯の特徴をより明確に捉えることができるようにする。また、大工場と中小工場のそれぞれの役割を比較しながらまとめることで、どちらも日本の工業にはなくてはならないことに気付くことができるようにする。そして、中小工場の生産の仕方を、働く人の願いや苦勞と関わらせて調べることで、どの工場も、使う人や環境のことを考えて高い技術や新しいアイデアを生かしたものづくりを行っていることを捉えさせる。

「まとめる」段階では、新しい工業の在り方について調べ、日本の工業が、生産者と消費者にとって大切な役割を果たしていることに気付くようにし、工業に対する見方・考え方を深めさせたい。

3 単元の目標と評価規準

観点	目標	評価規準
社会的事象への関心・意欲・態度	・自分達の生活が、さまざまな工業製品に支えられていることに気づき、日本の工業生産の特色について、興味をもって調べようとする。	・日本の工業生産の特色に関心をもって調べ、工業生産が自分達の生活を支えていることに気づき、今や未来の工業生産について興味をもって調べようとしている。
社会的な思考・判断・表現	・工業生産の様子を、国土の様子や国民生活と関連づけて、工業生産が国民の生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、適切に表現することができる。	・工業生産の様子と、国土の様子や自分の生活と関連づけて、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、言葉や文章で適切に表現している。
観察・資料活用 of 技能	・工業生産の様子や様々な工業製品について必要な情報を選び、読み取ったりまとめたりすることができる。	・写真やグラフなどの資料を適切に読み取り、工業生産の様子や日本の工業の特色について必要な情報を選び、正しく読み取ったりノートにまとめたりしている。
社会的事象についての知識・理解	・日本の中小工場では、さまざまなアイデアを生かした優れた工業製品や、心を豊かにする工業製品がつくられていることを理解することができる。	・これからの工業生産は、自分達の生活を支えることに加え、環境に配慮したり心を豊かにしたりする上で重要な役割を果たしていることを理解している。

4 指導計画（6時間）

段階	時	本時の目標	学習課題と主な学習活動	評価規準 観点【 】 方法（ ） 資料◆
とらえる	1	① 自分達の生活がさまざまな工業製品に支えられていることや日本の工業生産の傾向を捉え、日本の工業に対して関心をもつことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">日本の工業では、どのような製品が多くつくられているのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 日本の工業生産額が急激に増えたことを中心に話し合い、日本の工業生産について、全体で学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活がさまざまな工業製品に支えられていることに気づき、日本における工業生産の特色や今後の在り方について関心をもって調べようとしている。 【関・意・態】 （ノート・発言） ◆日本の工業生産額の変化
たしかめる	4	② 工業のさかんな地域について調べ、それらの地域でさかんになった理由を土地の条件や交通網の発達、人口と関連付けて考えることができる。 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">工業のさかんな地域が海岸ぞいに多いのは、なぜだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 地図、写真などの資料から、工業のさかんな地域が海岸沿いに多い理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業のさかんな地域が海岸沿いに多い理由を、土地の条件や交通網の発達、人口に関わらせて考えることができる。 【思・判・表】 （ノート・発言） ◆工業がさかんな地域 地形・交通網・人口の様子
		③ 大工場と中小工場の特色を資料から適切に読み取り、それぞれの役割についてまとめることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">大きな工場と小さな工場ではそれぞれどのような特色があるのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> グラフや写真などの資料をもとに大工場と中小工場を比較して特色を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大工場と中小工場の特色を資料から適切に読み取り、それぞれの役割についてノートにまとめることができる。 【技能】 （ノート・発言） ◆大工場と中小工場の割合

	④ 高い技術を生かしたもののづくりを行っている大田区の中小工場について調べ、働く人々の工夫や努力について捉えることができる。	<p>大田区の中小工場のものづくりには、どのような工夫や努力があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つずつ手作業で仕上げていく大田区のものづくりの様子や働く人々の話から、工夫や努力を読み取ってノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区には、高い技術をもった中小工場が集まり、消費者のことを考えた細やかなものづくりが進められていることを捉えることができる。 <p>【技能】(ノート・発言)</p> <p>◆金属加工の写真</p>
	⑤ アイディアを生かしたもののづくりを行っている中小工場について調べ、東大阪市のものづくりの特色を捉えることができる。	<p>東大阪市の中小工場のものづくりには、どのような工夫や努力があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイディアにあふれる東大阪市のものづくりの特色を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市の新たなものづくりから、環境や使う人のことを考えた質の高い製品づくりが進められていることを理解している。 <p>【知・理】(ノート・発言)</p> <p>◆アイディアを生かした新商品の写真</p>
まとめ	1 ⑥ 心を豊かにする工業生産について調べ、我が国における工業生産の役割や今後のあり方について考え、適切に表現することができる。	<p>これからの工業生産には、どのような考え方が求められているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う人とつくる人の双方に、心の豊かさを与えてくれるものづくりについて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業製品が自分たちの心を豊かにするために大切な役割を果たしていることや、全ての人にとってやさしい工業生産が大切であることをノートにまとめることができる。 <p>【思・判・表】(ノート・発言)</p> <p>◆さまざまな工業製品の写真</p>

5 本時の指導 (2 / 6)

(1) 目標

工業のさかんな地域が海岸沿いに多い理由を、土地の条件や交通網の発達、人口と関連づけて考えることができる。

(2) 評価と支援

評価の観点・評価規準	期待する児童の記述例	努力を要する児童への支援
<p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <p>工業のさかんな地域が海岸沿いに多い理由を、土地の条件や交通網の発達、人口に関わらせて考えることができる。</p>	<p>工業のさかんな地域が海岸沿いに多いのは、広い平地があり、交通が便利で人口が多いところが集まっているから。</p>	<p>平地、交通、人口との結びつきが分かるような板書にする。</p>

(3) 研究内容とのかかわり

【学び合いを深める工夫】

- ・「なぜ、広い平地、交通が便利なところ、人口が多いところに工場を建てるのか。」「まとめると、どのようなところに工業がさかんな地域があると言えるか。」など、工業が盛んな地域が海岸沿いに多い理由を捉えることができるような発問を行う。
- ・金ヶ崎町の工業地帯の航空写真を提示したり、「なぜ、金ヶ崎町は工業がさかんな地域なのか。」という発問をしたりして、工業が盛んな地域の条件をより深く捉えることができるようにする。

【表現する力を高める工夫】

- ・工業がさかんな地域の特徴と土地、交通、人口のつながりが分かる板書により、進んでまとめを書くことができるようにする。
- ・金ヶ崎町の工業地帯と釜石市を結ぶ高速道路について触れ、多面的・多角的に振り返りを書くことができるようにする。

(4) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 <>評価 ○研究との関わり 【】資料
とらえる 10分	1 課題を把握する ・本時の学習課題を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">工業のさかんな地域が海岸ぞいに多いのは、なぜだろう。</div> 2 見通しをもつ ・予想する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平らで広い土地がだから。 ・輸送に便利だから。 ・働く人がいるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料で主な工業地帯の場所を押さえることを通して、課題意識の醸成を図る。 【資】工業がさかんな地域 ・自動車工場の学習を生かして予想できるようにする。 ・方法も考えるようにする。
たしかめる 25分	3 自分の考えをもつ ・工業の盛んな地域が海岸沿いに多い理由を調べる。 4 学び合いをする ・調べたことを発表する。 ・土地の条件・交通網・人口について全体で確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・広くて平らな土地があるから、大きな工場を造ることができるから。 ・港や高速道路の近くにあると、作った製品を輸送しやすいから。 ・人がたくさんいると、働く人を確保できるし、多くの製品を売ることができるから。 ・主な工業地帯が、広い平野に集まっている。 ・主な工業地帯には、近くに港がある。 ・人口が多い都道府県と工業地帯が重なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の資料も用意し、理由を調べることができるようにする。 【資】地形 交通網 人口の様子 ○工業が盛んな地域が海岸沿い理由を掘り下げる発問を行い、土地・交通・人口の条件を深く捉えることができるようにする。 ○工業の発展とのつながりが分かる板書をする。 ・「まとめると、どのようなところに工業が盛んな地域があるといえるか。」と発問し、土地、交通、人口の条件が3つ揃っている所で工業が発展していくことに気付くことができるようにする。 ・太平洋ベルトについて押さえる。
まとめる 10分	5 まとめる ・板書のキーワードをもとにまとめる。 <評価Bの文例> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">工業のさかんな地域が海岸ぞいに多い理由は、広い平地があり、交通が便利で人口が多いから。</div> ・金ヶ崎町で工業が盛んな理由について考える。 6 振り返る ・感想を全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・土地が広くて平らだ。 ・近くに高速道路がある。 ・他の工業地帯の条件と同じだ。 ・工業が盛んな地域には、土地、交通、人口の3つの条件があることが分かった。工場が多いところを通った時、この条件を確かめてみたい。 	<評価基準> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">工業のさかんな地域が海岸沿いに多い理由を、土地の条件や交通網の発達、人口に関わらせて考えることができる。 【思・判・表】(ノート・発言)</div> <ul style="list-style-type: none"> ○「なぜ、金ヶ崎町で工業が盛んなのか。」と発問し、条件をより深く捉えることができるようにする。 【資】工業地帯の航空写真 ○復興道路に触れ、振り返りを多面的・多角的に書くことができるようにする。 ・評価Bに達している児童には、より具体的に書かせる。